

今年はこうありたい!
 去年の好スタートを
 活かそう!!

INDEX

新年のご挨拶

- 伊藤正子／清水嘉与子2
- 河野順子／南野知恵子3
- あべ俊子／高階恵美子4
- 高階恵美子の活動報告5
- 南野知恵子先生感謝の集い6
- 国会見学に参加して7
- 自由民主党大会に参加して
 趣味【私とレザークラフト】.....8
- 職場の声が切実に困っていること

早春の男体山

栃木県 看護連盟 だより



平成23年
 2月28日発行
 第46号

ベッドサイドから政治を変える

発行者：栃木県看護連盟
 〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15(社)栃木県看護協会研修センター内
 TEL 028-610-1035

発行責任者：栃木県看護連盟会長 伊藤正子 印刷所：(株)井上総合印刷

おめでとうございます!
 南野知恵子先生
 旭日大綬章受章!!

感謝の集い

平成22年度 栃木県看護連盟会員数	連盟	6851名	協会	9945名
	男性	女性	合計	
保健師	7名	132名	139名	
助産師	0名	235名	235名	
看護師	378名	5645名	6023名	
准看護師	30名	424名	454名	
合計	415名	6436名	6851名	
協会比 68.9% 賛助会員 183名				

連盟会員募集中

会費7,000円(本部5,000円,県2,000円)/年(賛助会員1,000円/年)

新年のご挨拶

今年はこうありたい! 去年の好スタートを 活かそう!!

あいさつ



栃木県看護連盟会長
伊藤 正子

新しい年を迎え、会員の皆様おめでとうございます。

年度末を控え、退職者の数を気にかけてながら、毎日お忙しくご活躍のことと存じ上げます。今年の冬は東北・北陸地方では豪雪のため雪かきの作業中の事故が多発し、また霧島連山の新燃岳の噴石被害の為、人々のライフラインを混乱させております。栃木県は幸い風水害が少なく、尋常に生活できることを感謝しながら、一日も早く沈静することを祈って止みません。

昨年は選挙の年でした。皆様方には大変お世話になり、ご活躍して頂きました。心から感謝申し上げます。「高階さんをどうしても当選させなければ」と必死で願う執念の年でもありました。選挙直前の支部長会では「絶対当選させること。絶対諦めないこと。」を誓い各支部長中心に全力投球していただきました。高階さんの上位当選は栃木県の総票6703名の皆様方の看護に対する深い愛情と執念の努力の証だと思われました。先日のサッカーアジア杯で優勝が決まった瞬間と高階さんの上位当選が決まった瞬間がダブって見えたほど喜びは大きなものでした。高階議員は「物事の始まりはすべて現場にあり」をモットーに阿部俊子議員と共に看護政策等に全力で取り組んでいらっしゃいます。私たちは去年のあの喜びを再び次回にも体験できますように尚いっそうのご支援を宜しくお願い申し上げます。

今年は、栃木県看護連盟創立50周年を迎える年でもあります。昭和34年に創立以来渡邊暎子現顧問をはじめ多くの諸先輩、会員の皆様に支えられて歩んで参ることが出来ました。看護協会のご配慮で看護研修センター内に事務局を置かせて頂いておりますことも感謝申し上げます。現在6800名を超える方々が入会して下さり、年々増加傾向にありますことも皆様方が看護連盟を大切に育て上げて下さいました賜物と思えます。私は会員の一人として誇りに思いますと共に現会長として深く感謝申し上げます。

6月18日(土)の記念式典には大勢の皆様方と一緒にお祝い出来ます事を楽しみにしております。今年もどうぞよろしくご支援とご協力をお願い申し上げます。

国民の大きな期待を担って発足したはずの民主党政権でしたが、一年もしないうちに総理大臣の交代。菅内閣になっても国内外共に難しい課題が積み重なっていくようで、残念ながら明るい展望の見出せない中での2011年のスタートでしたが、さすがに菅内閣も通常国会の審議を控えて、問題となっていた大臣の交代などを含めた内閣改造に踏み切りました。注目の与謝野大臣の起用で党内の亀裂もあるようですが、小沢代議士の件も含めて、党内のことはどうぞお静かに願っておきましょう。

そんな中でも高齢化はどんどん進み、老後の安心・安全政策はわが国の最重要課題になっています。施設から在宅へと医療政策は大きくシフトし、医療依存度の高い人々でも住みなれた地域でできるだけ長く生活し、安らかな最期を迎えられるよう、訪問看護サービスや看取りのケアなど在宅看護の充実が急がれます。高齢社会対策の力を握るのは看護職といっても決していいすぎではありません。

日本看護連盟は、たくさんの政治課題を看護の立場から検討し、提案してゆけるよう、国政の場、地方行政の場に看護職を送り込む仕事を続けて参ります。そのために今年まずは支部活動の活性化を図り、昨年の高階選挙で獲得した以上の票を獲得できるような組織にするべく、運動を展開してまいります。

新年のご挨拶



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

あわせて、高階恵美子議員は、野党の立場とはいえ、山積する医療や福祉の政策づくりに専門家として辣腕を振るってくれるに違いありません。ぜひ阿部俊子衆議院議員ともども、これからの活躍ぶりを温かく見守って下さいませよう、お願い申し上げます。

新年のあいさつ



栃木県看護協会 会長
河野 順子

連盟会員の皆様新年おめでとうございます。

昨年の参議院選挙におきましては大変お疲れ様でした。

お陰をもちまして、高階恵美子先生を高い得票で国会に送り出すことが出来ました。大変喜ばしいことと存じます。

看護協会としましては、日本看護協会本来の事業である目標達成がありましたので微妙な立場に立たざるを得ませんでした。しかし看護の目標を目指す者として考えますと当選は当然のこと、喜びで一杯でございます。

さて、栃木県の看護職の離職(特に新人)は、例年全国の中でもワースト上位になっております。

県内定着率を高めるため、医療施設の看護管理者はいろいろご苦労されていることと存じますが、栃木県看護協会では日本看護協会と併せて、平成23年「看護職のワークライフバランス推進ワークショップ」開催が決定いたしましたところ です。

会員の皆様には、ご協力・ご苦勞をお願いすることになりますますがよろしくお願ひいたします。

従来どおり看護連盟と看護協会が向く方向をひとつにし、栃木県看護職の質の向上と働きやすい環境づくりへの支援を共に行ってまいりたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

あけましておめでとうございます。

卯年の年開けに当り、皆様方のご計画が、順調に展開されます事を念じております。

昨年は、大変お世話になりました。特に3期18年の終盤に当り、看護の議席を死守する勢で闘った、夏の参院選では、見事に、力を結集し、高階議員の誕生を果たす事ができました。皆様方が頑張った勝利であり現職中に、後任にバトンタッチできた事は、議員退任目前の大きな喜びでした。心より感謝申し上げます。あべ議員と共に大いに活動していただける事と期待しております。どうぞ皆様方のご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

新年を迎えても、国会開会日が、はっきりしなかったり、内閣改造など大きく、ゆれていますが、予算は、国民の生活に直結すると同時に、その内容は、国民のくらしのあり方を左右するものであります。医療・看護・社会保障のあり方は真剣に取扱ってほしいものです。

昨年、11月には、陛下より叙勲賜りました。この栄誉は、皆様方と共に与えられたものと思ひます。仲間の皆様に感謝の心でいっぱいです。

18年間の議員活動の間に、特に気に入ってかかわった法律、「思い出の立法」議員立法と、法務大臣の時の閣法も、まとめてみました。更に、「泣きよっかひっ飛べ」(参)で18年をまとめてみました。お読みいただければ幸せに存じます。

永い間のご支援、ご指導、心よりありがたく、感謝申し上げます。

「皆に謝す 秋宮中の親授式
旭日大綬章受く 我はみとりめ」

「来し方を ふりかえれば 友 常にあり
旭日大綬章は 友 との宝」

新年のごあいさつ



前参議院議員
南野 知恵子

引き続き現場の改善を目指す



衆議院議員
あべ 俊子

栃木県看護連盟の皆様、いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。新しい年を迎え、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2期目を迎えた昨年は、様々な委員会で質問させて頂ける機会が増えたこともあり、国会会期中は毎週のように質問に立ち、週末になると地元岡山での活動に帰るといいう忙しい一年となりました。今年、野党となって二度目の通常国会を迎えますが、いたずらに批判や争いをするだけの野党ではなく、必要な法案は修正案として可決するなど政治と政局とを切り分け、国民生活の安定を第一に考える野党として行動していきたいと思えます。

一方、看護界にとって長年の悲願である看護職の労働環境の改善に向けても、昨年末、厚生労働省内の部局間で連携して雇用の質の向上についての検討をおこなうプロジェクトチームが発足するなど、その取り組みは目に見える形で少しずつ前進しています。さらに引き続き看護職の夜勤労働に関する問題や、高齢社会における看取りの問題についても党内の看護問題小委員会において検討を重ね、提言としてまとめていきたいと考えています。

看護職の皆さんがいきいきと働くことができ、そして現場が良い方向に変わったと少しでも実感して頂けるように、今年も国政の場で精一杯努めてまいります。どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

年女の覚悟



参議院議員
高階 恵美子

栃木県看護連盟の皆様、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

トラの夏は'熱く燃え'看護職の信念が見事に結実した年でした。お一人お一人の笑顔は脳裏を離れず、いつもあの感動を胸にしなが、新人議員としての活動をさせていただいております。

就任から早や半年が経ち、つつがなく年明けを迎えさせていただくことができました。皆様の揺らぎのない情熱に支えられ、予想を超える大波・荒波・突風をも乗り越えて、ともに新しい歩み創めができたのだという喜びを、一層噛み締めている次第です。

この間のご尽力に対しまして、改めて衷心より感謝申し上げます。

今年、たかがいは年女(としおんな)です。「物事の始まりはすべて現場にあり」この感覚を忘れず、これからも皆様とともにある参議院議員として、ウサギの如く駆け巡る所存です。

あまね
**普く事を聴き、
真髓を射る努力を尽くし、
大きく躍進する！**

会員の皆様、そしてご家族の皆様にとりまして、はつらつ澁刺と過ごせる卯年となりますよう心よりご祈念を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭から大揺れの国会が予想されております。これは、新たな時代に対応できる成熟型の日本の政治が生まれ来る予兆でもあります。厳しい局面だからこそ冷静かつ大胆に、先を見越して活躍できる看護職、そんな頼れる専門職としての未来が広がっていくように、ますます精進してまいります。

これからも引き続き、熱い看護の心で、変わらぬご指導ご助力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

高階恵美子の活動報告

地域における多様な看取り施設の視察を行いました

(1月11日 高階事務所)

平成22年12月20日及び21日に自民党看護問題対策議員連盟の活動として、地域における多様な看取り施設の視察を行いました。20日は衆議院議員町村信孝先生、末松信介先生と横浜市内の有料介護老人ホーム、在宅での看取りを支えている病院、訪問看護ステーション、療養通所介護事業所を、21日は松戸市内の在宅支援診療所、訪問看護ステーション、グループホーム、宅老所、有料介護老人ホーム、緩和ケア病棟などを訪問しました。

各施設において、現状はどういう状況であるか、現場のニーズと制度とのギャップ、必要な支援などについて施設職員の方々との意見交換を通じて、様々な課題を把握することができました。また、先進的な取組みについて、今後の制度設計の参考となるものが多々ありました。

なお、今後、他の地域においても、看取り施設の視察を予定しています。住み慣れた地域の中で穏やかな最期を迎えたいと望んでいる方は多いにも関わらず、実際にはその要望に応えるにはまだまだ不十分な状況にあります。いかにして自分らしく生きる終えることができるか、これは誰もが否応なく考える人生の大命題です。

「死」という問題には目をそむけがちですが、これは「命」の問題であり、穏やかな最期をいかに支えるかということは、すなわち、命の尊厳をいかに守るかということではないでしょうか。たかがいは、穏やかな最期を実現する仕組みづくりのため、しっかりと活動していきます。



療養通所介護事業所



グループホーム



療養通所介護事業所



宅老所



訪問看護ステーション



緩和ケア病棟



南野知恵子先生

旭日大綬章 感謝の集い

旭日大綬章
受章を祝う会



平成 22 年 11 月 13 日、ホテルオークラにおいて「南野知恵子先生感謝の集い～旭日大綬章受章を祝う会」が盛大に開催されました。

東京深川の伝統芸能の「木遣り保存会」の祝い唄に先導された南野先生はピンクの濃淡のロングドレスに旭日大綬章を胸に付けられた晴姿でご入場されました。

会場には全国から集った看護関係者や国会議員、関係各団体など 600 余名の出席者から大きな拍手が湧き、華々しく会は始まりました。

ごあいさつは、発起人の日本看護協会久常節子会長、日本看護連盟清水嘉与子会長から。森喜朗元首相、町村衆議院議員、阿部俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員をはじめ来賓の方々から沢山のお祝詞をいただきました。

南野先生のご活躍は周知の通り、数多くの法案を作り看護界に大きな功績を残されました。

出席した坂主リツ副会長からの感想は!!

今回の受章は、南野先生のお人柄もあってのこととされます。「人のために生きてきたこと」それが多くの業績を残されました。

南野先生と同じ道は歩めなくても、同じ思いで過ごすことが出来ればと、心を新にし、家路に着きました。

南野知恵子先生、長い間私たち看護職のためにご尽力頂きありがとうございました。



南野知恵子先生略歴

- 参議院議員・自由民主党比例代表(当選3回)
- 昭和10年11月14日旧満州子于ハル生まれ
- 国立鹿児島病院附属看護学校卒業
- 大阪大学医学部附属助産婦学校卒業
- 昭和38年より3年間イギリスに留学し、SCM(助産師国家免許)、SPN(看護師国家免許)等取得
- 帰国後日本赤十字看護大学教授などを歴任
- 平成4年7月参議院議員比例代表初当選(1期)
- 平成10年参議院議員選挙比例代表当選(2期)
- 平成16年参議院議員選挙比例代表当選(第3期)18年間参議院議員として看護職の代表として活躍されました。
- その間平成13年厚生労働副大臣平成16年法務大臣・内閣府特命担当大臣(青少年育成及び少子対策担当)など歴任
- 2009年2月2010年の第22回参議院議員通常選挙には出馬せず、政界引退を表明



上都賀総合病院
看護師
山形 文子

平成22年度 国会見学に参加して

私が国会見学に参加したのは参議院議員高階恵美子さんが当選してまもなくであり、私自身、始めてでした。

高階恵美子さんを当選すべく「ホップ・ステップ・ジャンプ」活動の中で、実際にお会いする機会があり、明るく・熱意のこもった話し方がとても心に残りました。そして私達もやる気ができるようなエネルギーな雰囲気にも圧倒されました。私は2年前病棟師長になり、夜勤や超過勤務は当然のことと半ばあきらめ、厳しい勤務の中でも、出来るだけ患者の支援をしたいと頑張ってきました。

しかし、病棟スタッフの疲弊している姿を師長という立場から目の当たりにし、休暇取得や業務調整、また業務の効率化を図ろうと日々奔走していますが、思うような成果にはなかなか繋がりません。そういったジレンマと焦りを感じていました。そうした折り国会見学の計画を知り、もう一度エネルギーな高階議員の活動を少しでも見せて頂けたらと思い、国会見学に参加しました。

高階議員は、いつものように明るく元気いっぱい、そしてきっぱりとした口調で現在の活動状況を述べられました。看護職が、楽しく・豊かに・堂々と、国民の健康福祉に貢献する為に、課題に取り組んでいる。ヒューマンケア中心の地域づくり、この切なる希望をかなえることができるのは「いのち」に寄り添う看護の技である。「人の生きる力を守るプロとして」寡黙に頑張るだけではなく、何をどう変えていくのかを一人ひとりが考えること。また、国政に直接かかわれる人を通して、私たちの声を社会に届けていき「いのちと暮らしを守り抜いていく」「きつい、きたない、きびしい」から「賢く、健康的で、確実に仕事する」の「前向き3K」への転換、これらのことを政治の場で発信する。そのような高階議員の話を聴き、確かな手ごたえと、今後への期待を胸いっぱいに戻路につくことができました。

第78回 自由民主党大会に参加して

栃木県看護連盟幹事長 直井 八重子

去る1月22日(土)グランドプリンスホテル赤坂「五色の間」にて第78回自由民主党大会前夜祭が開催された。

そこで、私達が応援した高階恵美子参議院議員が晴れの司会を担当し、堂々と大役を果たした。マイクを持つと、いつもの名調子「みなさま、こんばんは!!!」と。ドレス姿が素敵でした。参議院選挙での上位当選、高階議員の「やる気」が認められたことは、私達看護連盟の誇りです。

自党内では、女性局長代理、ネットメディア局次長、厚生労働部会副部会長の重責を担っている。今、看護問題小委員会副会長となりこれから、「看護が中心となる看取りの場を確保」と、地域の現状を視察中です。公約実現に向け着実に活動している高階参議院議員に惜しみない支援をおくりましょう。

翌日の自由民主党大会では、300余名が出席し、自民党組織を立て直し、統一地方選挙に勝利し政権奪還をと自民党7つの重点政策を掲げ、みんなの力で日本を立て直そうと盛りあがりがありました。大会表彰では、自民党栃木県連の推薦により優秀党組織に栃木県看護連盟が選ばれて、表彰を受けました。4月の統一地方選挙に向けて、皆様の力強いご支援をお願いいたします。



自民党大会。清水嘉与子日本看護連盟会長が表彰されました

ウェルカムパーティー



この趣味のコーナーにあなたの趣味をお寄せください。

趣味コーナー

私としザークラフト

大田原赤十字病院 上杉みつえ



もうだいぶ前、私の前を素敵な女性が手作りのバックを持って歩いていました。思わず「素敵ですね」と声をかけていました。その日が私としザークラフトの最初の出会いでした。

それから数年クラフトの事を忘れていましたが、40歳代になり、仕事以外に何か趣味を持ちたい、大切な人から頂いたバックの修理をお願いしたいと考えているとき、「革の会」と出会いました。「大切なバックは自分で直したら」と言う先生の一言から始めたしザークラフト。

一年に一作を目標に土曜日の休日を利用して教室に通う。職場とは無縁の人々との集まりの中でただひたすら、無心に作品と向かいあいます。実際は、

郷土料理の作り方、近隣の年中行事への取り組み、嫁・姑それぞれの立場での意見交換などですが、作品の手は進まないが、職場、家族から解放された貴重な時間です。

しザークラフトは気が進まない時に作ると、思うような作品にならない。「これが欲しい!!」「これが作りたい!!」と思ったとき「世界に一つしかない私だけの作品」が作れるのです。時に見られる多少の荒さが「ハンドメイドの良さ」と感じる場合があります。これからも、失敗は恐れず、「ありきたりの綺麗な作品」ではなく、「多少の粗はあるけど、オリジナリティーのある作品」を作っていきたいと思っています。

今は、仕事に追われているけれど、



近い将来は、こんな趣味に囲まれ、自分の時間を大切にしたい生活を送りたいと思っています。

今回紹介いたしました作品は、基本的な工程(牛革を裁ち、カッターを入れ、手染め、手縫い)で作ったお出かけバック・ソフトレザーで作った県北の冬には欠かせないマントです。

職場の声

今、切実に困っていること

栃木県看護連盟のスローガンに「ベッドサイドから政治を変える」というものがありますが、本当に切実に「変えたい!」と思う事は身近にあります。

現在、子育て真っ最中のママさん看護師の方々。普段は幼稚園・保育所に子どもを預け、職場に来ている方も多いかと思います。普段はそれでなんとかこなせていても、もし仮に子どもがインフルエンザにかかったとしたら、頼みの幼稚園・保育所は出席停止になり、仕事を休まなくてはなりません。休みを取った分同僚の負担が増え、自分もリフレッシュのための休みではないので皆疲れが残るばかりになります。また、労働者のみならず雇用側にとってもマイナスな状況です。このような状況が相も変わらず存在している以上、まずはこれを改善せねばなりません。

現在、ともかくも早急に望まれるのは「看護師が常駐する託児施設」の創設です。病気がかかってしまった子ども達を見てくれるデイケアサービスがあれば、看護職だけではなく全国至る所の職場で労働環境はかなりの改善を得られるはずで。

もちろんこれは個人の力では不可能と言えますので政治的な力が必要となります。皆が声を出して政治に働きかけることこそ「ベッドサイドから政治を変える」という事に他ならないのです。

中嶋 珠實 記

栃木県看護連盟 50周年記念式典 並びに通常総会が開催されます

日時:6月18日(土)
午前10:00~
場所:コンセーレ大ホール

2011年 通常総会のお知らせ

日本看護協会通常総会
開催日:6月6(月)・7(火)・8(水)日
場 所:横浜パシフィコホテル

日本看護連盟通常総会
開催日:6月14日(火)
場 所:東京プリンスホテル

栃木県看護協会通常総会
開催日:6月11日(土)午後
場 所:健康の森

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は皆様のおかげで待望のバトンタッチができ、新たな出発をすることができました。ひと安心のところ。しかし次の選挙まであと2年です。そのことを踏まえる意味もあり、

看護連盟では、会員を募集しております。めざせ7,000人です!!“びよん”といきたいですね 会員の心一つにして、福寿草も花開き春の足音が聞こえてきています。新たな年に向かいがんばっていきましょう。

広報委員
直井 知子
五月女文子
中嶋 珠實